

# 福

「福岡」県が新たな組織を立ち上げたのは、EVの普及が進みつつある中で、今後、使用済み電池の発生が急激に増えることを見込まれているためだ。また、バッテリーの製造に

# 県が新組織立ち上げ

## 塗装の独自工数策定

### 今年度から3カ年計画で

### 作業時間 確かな「物差し」を

#### 日車協連

も、独自工数を「中立かつ公平・公正で恒久的に利用可能にする」（日車協連）ための、策定方法を検討していく。同時に、システム化など組合員が利用しやすい形での提供方法も探る。

### 電子制御装置整備 認証は347件

7月

日本自動車車体整備協同組合連合会（日車協連、小倉龍一会長）は2024年度からの3カ年計画で、塗装の作業工数を策定する。今年度に計画の骨子を固め、25年度に検証、26年度から組合員が損害保険会社などとの協定で使えるようにする。国内の車体整備業では作業時間の「物差し」となる工数の種類の少なさを指摘する声があった。日車協連は業界内のこうした意見を受けて、独自工数の策定に乗り出す。

組合員の利用頻度が高く、汎用性も高い塗装工数の策定に着手する。実際にかかった作業時間の積み重ねで工数を策定する方針。検証方法は検討中だが、①組合員から収集した作業時間のデータを第三者機関に検証依頼②第三者機関に協力を依頼し、データ収集から検証などのパターンを想定している。このほかに

日車協連では23年から、板金塗装（BP）作業で使用する材料代の検証を進めている。各組合などで、1台当たりの全工程で使用した材料（副資材を含む）の量と原価を計算し、原価を下回らない請求金額の算出方法などの講習を実施している。塗装材料代は慣習的な算出方法が実際に掛かった材料費を下回るケースが業界内で指摘されていた。材料代に加えて工数の検

国土交通省がまとめた2024年7月の電子制御装置整備の認証件数は347件だった。特定整備制度が施行した20年4月からの累計件数は6万61件（うち自動運行装置は219件）となった。パターン別の認証件数は、運行補助装置の新規申請が電子制御装置整備のみを行う「パターン1」で49件、分解整備と電子制御装置整備の両方を行う「パターン3」で56件、分解整備のみを行う「パターン1」からパターン3への変更申請が242件だった。自動運行装置はゼロ。両



独自工数は組合員が利用しやすい形で提供する

独自工数は組合員が利用しやすい形で提供する

自動車整備  
SDGS  
リサイクル